

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
器具備品及びソフトウェア・・・定額法によっている。
- (3) 消費税の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,435,764	41,794	0	49,477,558
小 計	49,435,764	41,794	0	49,477,558
特定資産				
投資有価証券	499,882,982	62,391	0	499,945,373
特定定期預金	18,837,875	2,000,000	7,000,000	13,837,875
小 計	518,720,857	2,062,391	7,000,000	513,783,248
合 計	568,156,621	2,104,185	7,000,000	563,260,806

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,477,558	(49,477,558)	(0)	(0)
小 計	49,477,558	(49,477,558)	(0)	(0)
特定資産				
投資有価証券	499,945,373	(499,945,373)	(0)	(0)
特定定期預金	13,837,875	(13,837,875)	(0)	(0)
小 計	513,783,248	(513,783,248)	(0)	(0)
合 計	563,260,806	(563,260,806)	(0)	(0)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
メダル刻印原型	300,000	299,999	1
ソフトウェア	183,600	94,860	88,740
合 計	483,600	394,859	88,741

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
20年利付国債（第122回）	49,477,558	60,175,000	10,697,442
第483回 関西電力社債	99,943,780	102,600,000	2,656,220
第5回クレディ・アグリコル・エス・エー円貨社債	100,618,750	103,546,000	2,927,250
第25回 三菱東京UFJ銀行社債（劣後特約付）	99,905,181	103,214,000	3,308,819
20年利付国債（第61回）	99,689,850	105,480,000	5,790,150
20年利付国債（第120回）	99,787,812	117,673,000	17,885,188
合 計	549,422,931	592,688,000	43,265,069

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産の振替額（30周年記念事業）	5,000,000
受取寄付金の振替額（30周年記念事業）	5,000,000
受取寄付金の振替額（財団管理費用）	8,000,000
合 計	18,000,000